

アジア太平洋地域綱領（プラットフォーム）の概要

性格

ヨハネスブルグ・サミットの世界レベルでの準備プロセス（1月～）にアジア太平洋地域からインプットするための文書。

構成

- ・ アジェンダ 2 1 の実施状況の評価
- ・ 重要事項・優先的取組事項
 - A. 社会・経済的事項
 - B. 環境・天然資源
 - C. 横断的事項
- ・ 今後の行動
 - A. 目標
 - B. アジア太平洋イニシアチブ
 - C. 実施のメカニズム
- ・ 資金

内容

- ・ 実施状況：
 - 環境政策、組織、法制度などの面で多くの進展があったものの、環境は劣化し、貧困層も増加の一途。
- ・ 重要事項、優先的取組事項：
 - （1）社会・経済的事項
 - 貧困問題、 グローバリゼーション、 持続可能なエネルギー開発、食糧安全保障のための持続可能な農業、 人間居住開発、消費・生産パターン、 人材開発、 自然災害対策
 - （2）環境・天然資源
 - 土地・生物多様性、 海洋、 淡水、 エネルギー・鉱物資源、 大気・気候変動、 島嶼国のぜい弱性
 - （3）横断的事項
 - 政策チャレンジ、 制度改革、ガバナンス、 人材育成、 十分な情報に基づいた意思決定、 技術移転、 多様な主体の参加、 ジェンダー問題
- ・ 今後の行動
 - 7つのイニシアチブを提唱
 - 人材育成、 貧困削減、 クリーナープロダクションと持続可能なエネルギー、 土地管理と生物多様性保全、 淡水資源の保全・管理・アクセス、 海洋、 大気・気候変動
- ・ 資金調達
 - ODA を GNP の 0.7% とする国連目標の早期達成に向け努力することを先進国に要請。
 - 地球環境ファシリティーの強化。
 - 市民社会と産業界の参加促進による追加的資金の獲得についての認識。